

2022年7月29日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 三井不動産株式会社で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一（以下、当行））は、三井不動産株式会社（代表取締役社長 <sup>こもだ まさのぶ</sup> 菰田 正信（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>①</sup>（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下、本契約）を、締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

同社は2021年11月、国内外で気候変動に対するグローバルな関心と対策の重要性が高まっていることを受け、2030年度のグループ全体のGHG削減目標を40%（2019年度比）に引き上げるとともに、2050年度のネットゼロ達成のため「脱炭素社会の実現に向けたグループ行動計画」を公表しました。その進捗を計測するKPIとして、三井不動産グループ全体のGHG排出量のうち、Scope1排出量（直接排出量）とScope2排出量（エネルギー起源間接排出量）の削減目標を選定しました。本契約のSPTは三井不動産グループ全体のScope1+Scope2排出量を2030年度までに46.2%削減（2019年度比）することであり、パリ協定が求める水準と整合する野心的な水準を設定しています。

同社は2018年度に策定したグループ長期経営方針「VISION 2025」において、「街づくりを通して、持続可能な社会の構築を実現」していくとしています。「VISION 2025」では、継続的な価値創造を実現するため、E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）を重要な経営課題と位置付け、重点的に取り組むべき6つの目標を掲げています。これらに取り組むことで街づくりを一層進化させ、“持続可能な社会”と“継続的な利益成長”の実現を目指しています。

### 本ローンの概要

契約締結日	2022年7月26日
アレンジャー/エージェント	三菱UFJ銀行
資金使途	事業資金
貸付人（五十音順）	株式会社きらぼし銀行、株式会社栃木銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社八十二銀行、株式会社みなと銀行、株式会社ゆうちょ銀行

また、同社は「サステナビリティ・リンク・ローン フレームワーク」を策定しており、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していることについて2022年1月に第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 770 機関が加盟。

以 上